

診療所からの訪問リハビリテーションが 地域で果たす役割

医療法人社団らぽーる新潟ゆきよしクリニック

理学療法士 山浦祥宏

作業療法士 高野友美

作業療法士 大越 満

理学療法士 加藤 拓

作業療法士 清水美穂

はじめに

- 当院がある新潟市は、人口804,609人、世帯数309,921世帯、県庁所在地であり、本州日本海側唯一の政令指定都市である。
- 当院の訪問範囲は新潟市の一部地域（南区・江南区・東区・中央区・西区・北区）とし、求めに応じて新潟市西蒲区、阿賀野市、新発田市と五泉市の一部地域の総面積約627km²である。
- 今回は、新潟市内における当院の短期集中リハビリテーション実施加算（以下短期集中リハ加算）を算定した訪問リハビリテーション（以下訪問リハ）の実績を調査し、訪問リハが地域で果たす役割を見い出すことを目的とした。

新潟市

新潟市ホームページより
(平成21年12月末現在)

人口／804,609人

男：387,949人

女：416,660人

世帯／309,921世帯

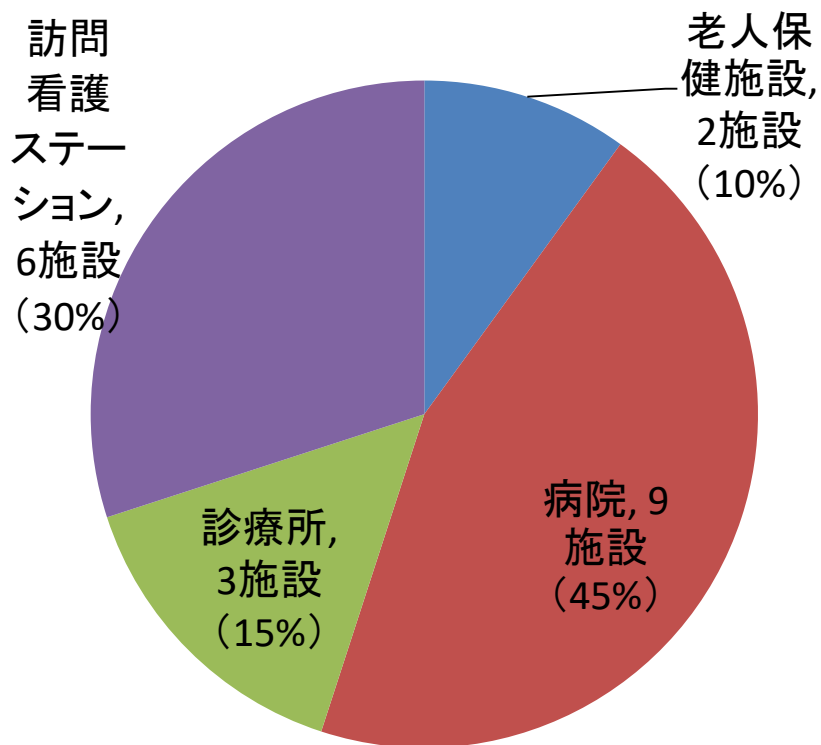
面積／726.10km²



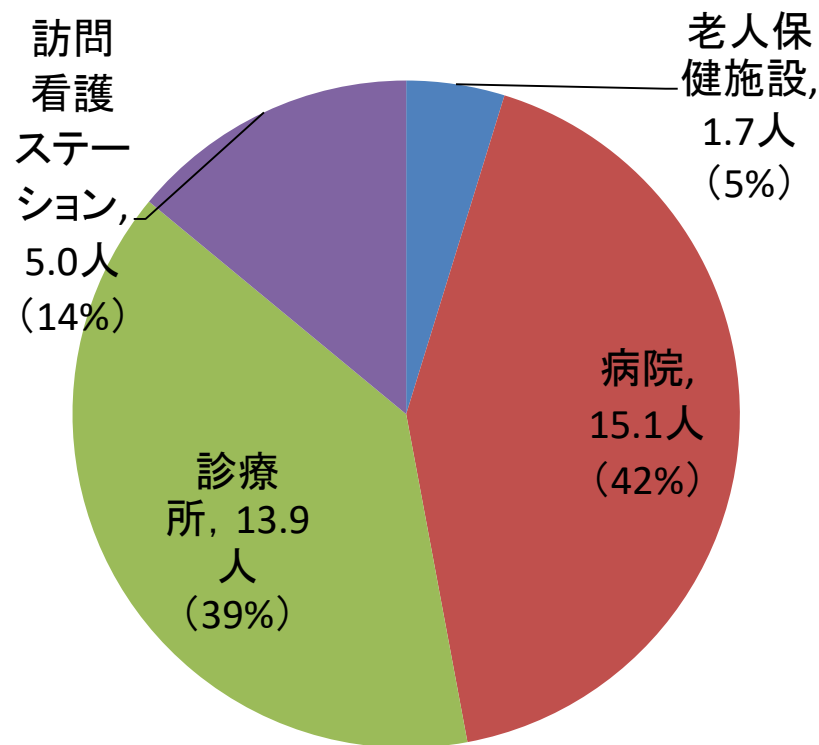
新潟市の訪問リハの現状

平成20年度新潟県介護サービス情報
公表センターより

事業所の種類



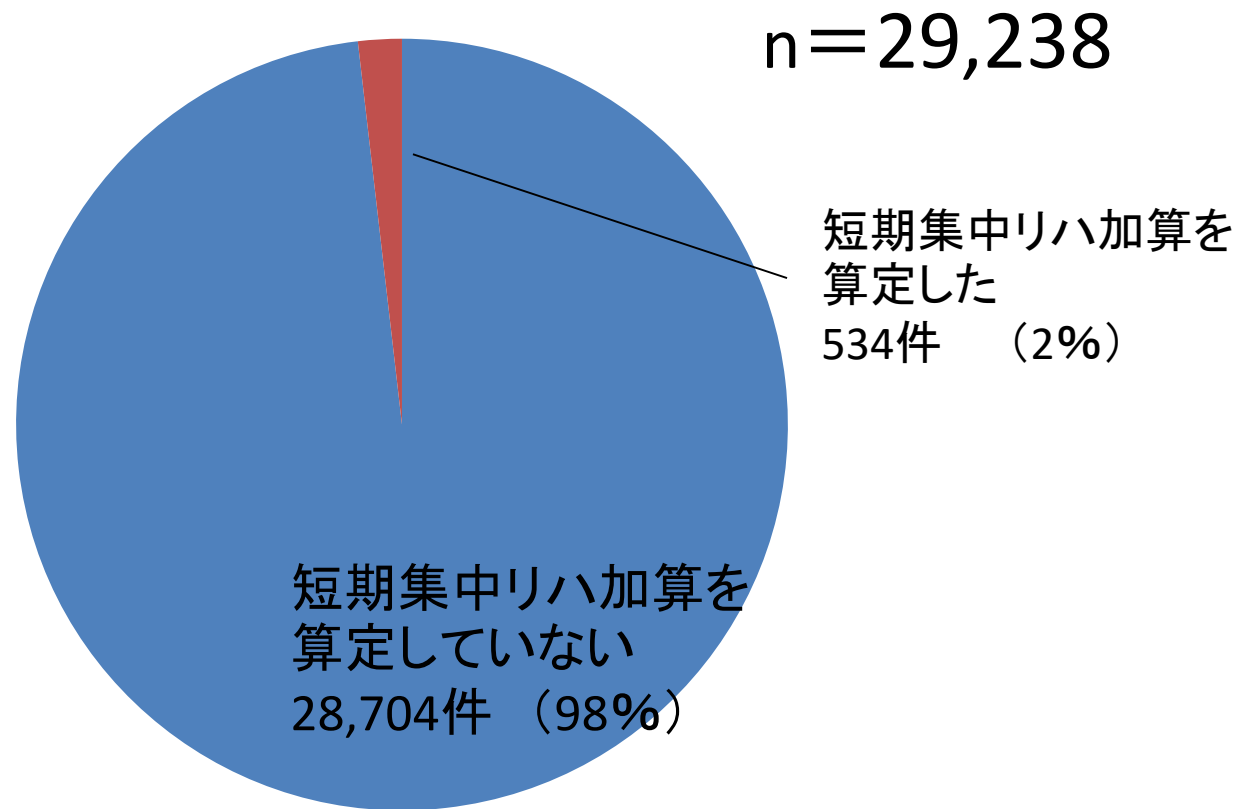
療法士数(事業所の種類別常勤換算の総数)



調査の対象

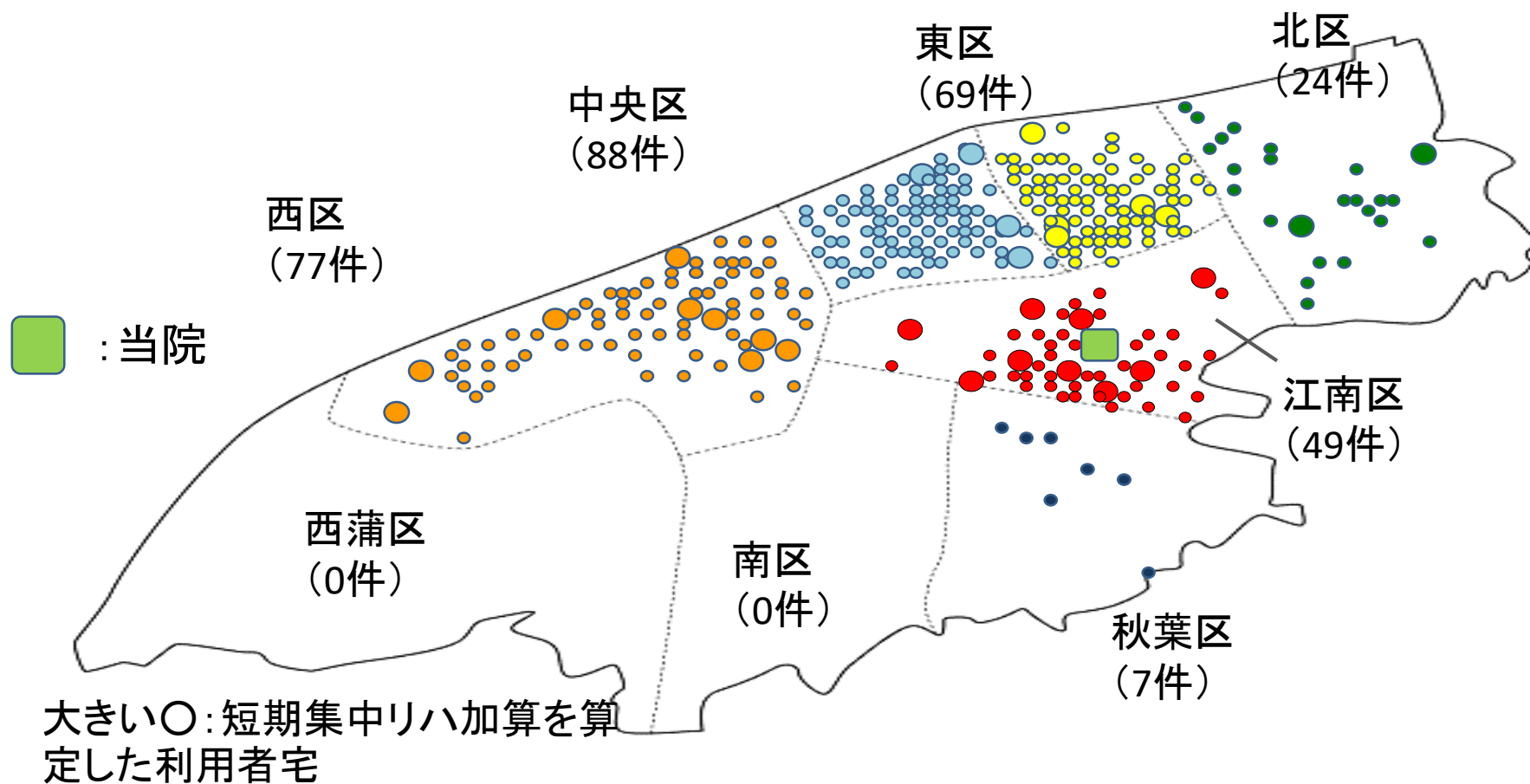
1. 平成20年度, 平成21年度の介護保険での当院の訪問リハ実施件数と短期集中リハ加算件数.
2. 平成20年度, 21年度の短期集中リハ加算を算定した当院の訪問リハ利用者宅の新潟市内における位置関係.

結果1:平成20年度, 21年度の訪問リハ 実施件数と短期集中リハ加算件数の内 訳



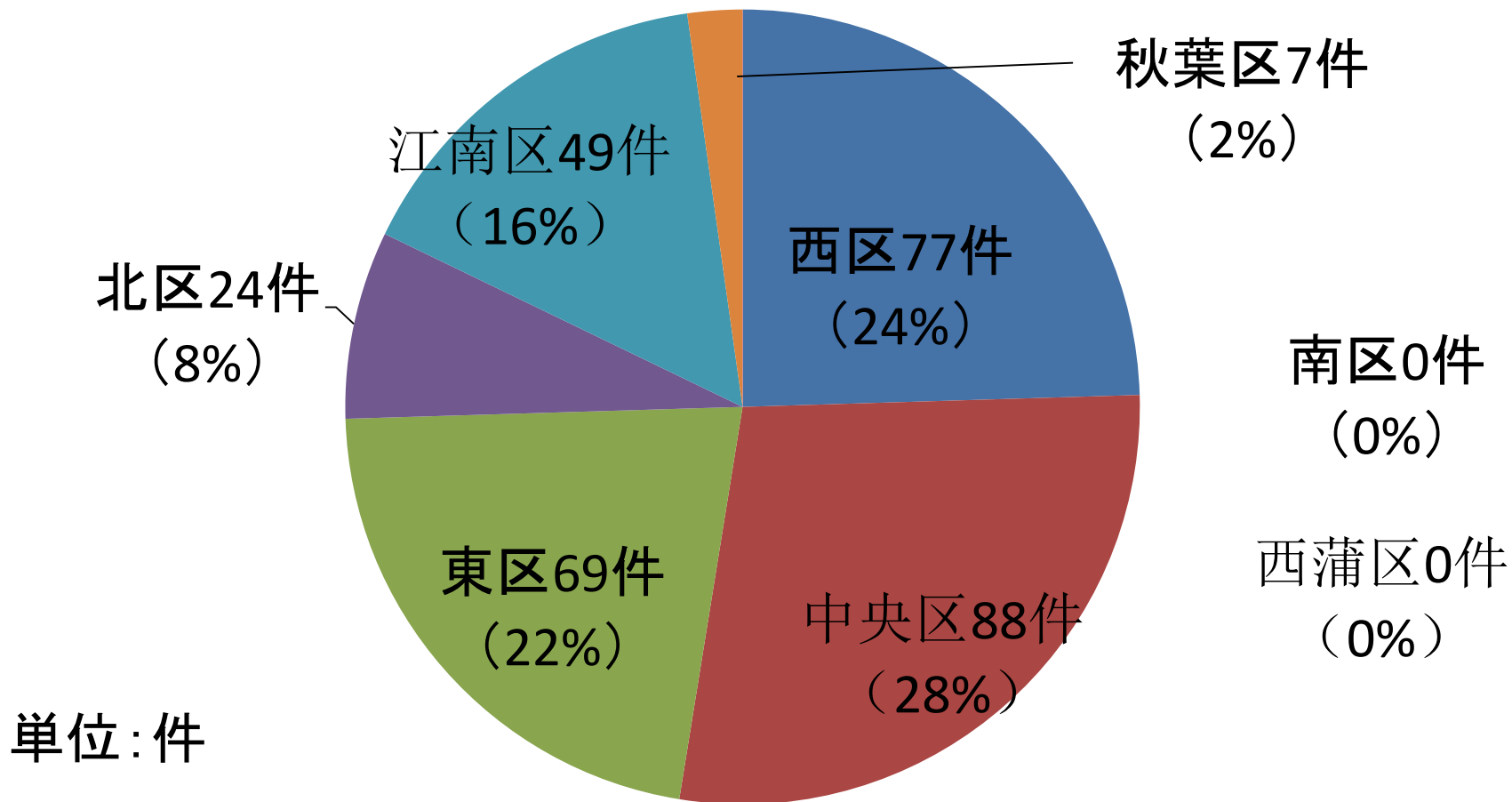
単位:件

結果2-1：平成20年度，21年度の介護保険訪問リハ利用者宅の新潟市内における位置関係



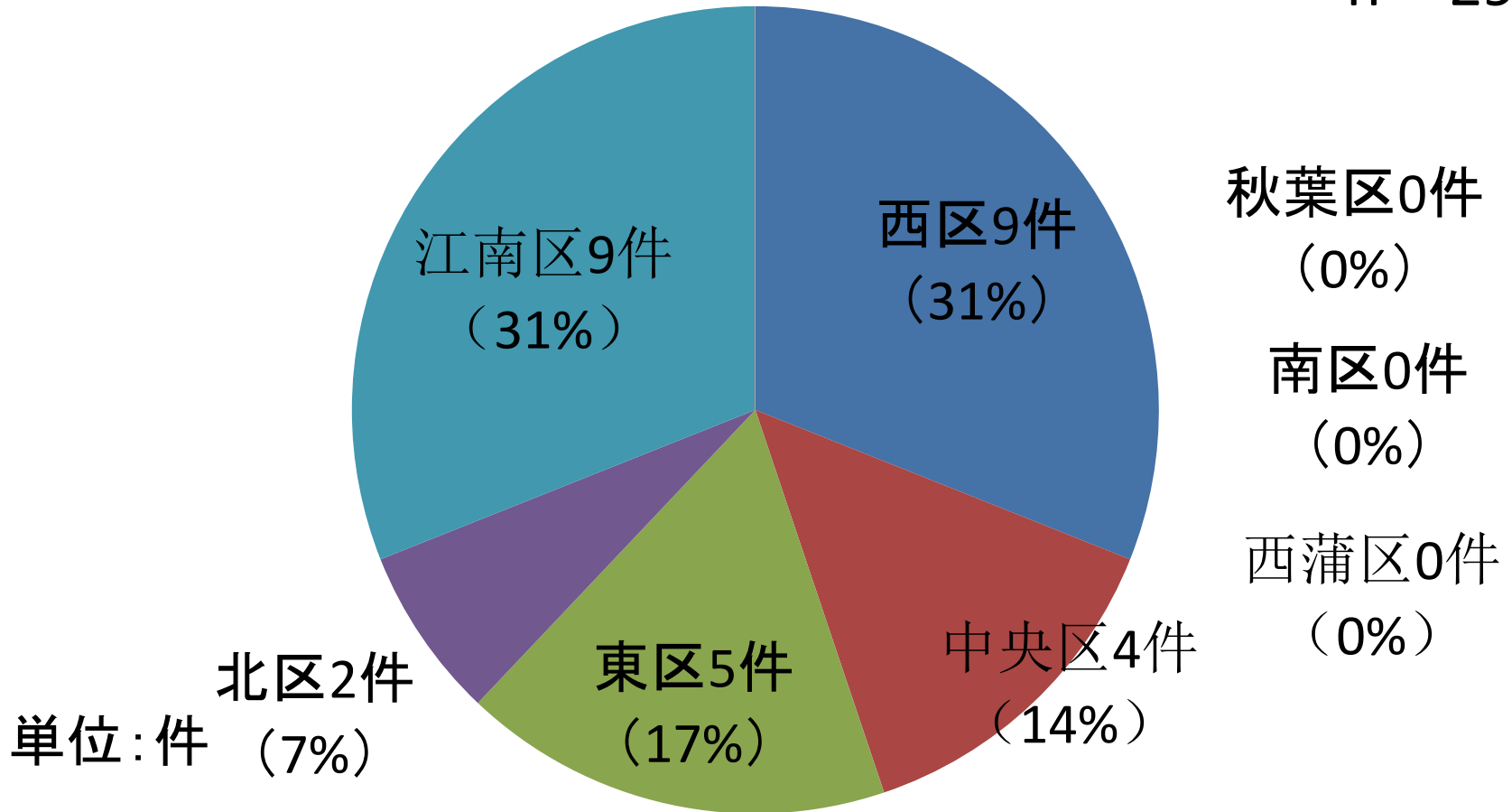
結果2-2:区毎の介護保険訪問リハ件数

n=314

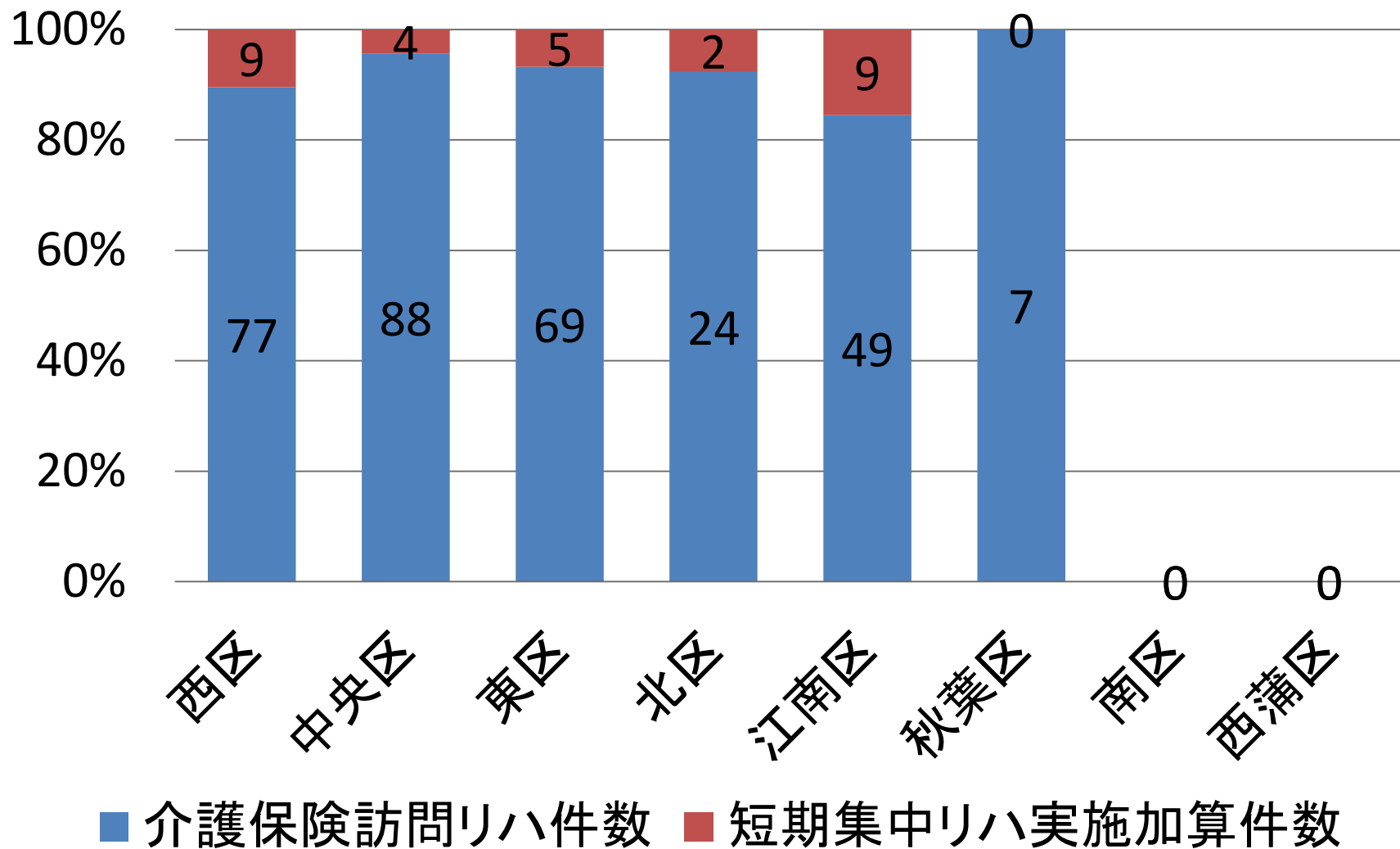


結果2-3: 区毎の短期集中リハ加算算 定件数

n=29



結果2-4: 区毎の短期集中リハ加算の割合



結果のまとめ

- 当院の短期集中リハ加算は2%と少なかった。
- 当院の訪問リハ利用者は新潟市内で人口が多い地域に多く広がっていた。
- 短期集中リハ加算算定者は人口が多い地域とは関係なく、西区，江南区に多くなっていた。
- 区毎にみると，短期集中リハ加算を算定した利用者の割合は西区，江南区が他の地域と比べて多かった。

考察1

- 当院の短期集中リハ加算は2%と極めて少なくなっていた。当院は診療所であり、退院直後の短期集中リハ加算は算定しにくい為と考えられる。
- 当院からの短期集中リハ加算算定者が人口が多い地域に集中していなかった理由としては、その地域に訪問リハを提供している回復期リハ病棟を有する病院があり、その病院からの訪問リハがその地域の退院直後の訪問リハを支えている為と考えられた。

考察2

- 現状では当院のような診療所からの訪問リハは回復期病棟を退院した直後の訪問リハを提供する機会は少なくなっている。しかし、回復期リハ病院の訪問リハが訪問しきれない範囲の利用者に対し、当院の様に広い範囲で訪問リハを提供できる事業所も必要であると考えられた。
- 今後は回復期病棟のある病院との連携を深め、退院直後の訪問リハを必要としている利用者に対しても継ぎ目の無い訪問リハの提供をしていく必要があると考えられた。

まとめ

- 回復期リハ棟のない事業所からの訪問リハは当院の様に広範囲に渡り、訪問リハを必要とする人へ必要な量の訪問リハを提供していくことが重要と考えられた。
- 療法士がより多くの診療所に雇用されることにより、また、“訪問リハステーション”が創設されることにより、より小さな地域で地域密着の訪問リハが展開できると考えられた。